

やすらぎの じどうもじをあなたに

NO. 7
2015年8月1日発行
発行者 夕深
981-1107
仙台市太白区
袋原郵便局留
問い合わせ先
090-6221-6611

残暑お見舞い申し上げます

今年の3. 11

猛暑・酷暑という言葉が頻りに聞くようになりました。全国的に最高気温が同じような数字になってきているのを見ると大きな変化が起きているのだらうと思わずにはいられません。気温上昇に次いで、噴火や台風、地震など、自然の猛威に人間は無力であることを同時に感じるこの頃です。

今年も3月11日に石巻市役所一階での手書きのボランティアに行ってきました。ご希望の文字を書いて差し上げるのですが、震災から四年目の今年は、「健康」と書いて欲しいという声がとても多くありました。その中で「ただ（無料）って言うのにすがってでもいいんだい

だいか（いいのでしようか）」と一人の高齢な女性が申し訳なさそうに言いました。そのために書いてプレゼントトしているんですから、と言うと何とも嬉しそうな表情を浮かべました。屈託のない心が顔に表れるとき、年齢ではない魂の美しさにじみ出るものですね。心の復興と共に、今生きるために何をしていても健康があつてこそ、そんな思いが切実に伝わってきました。来年はご依頼の文字が何と変わるのか楽しみにしつつ、皆さんの心に寄り添い心を込めて参りたいと思います。

色が意味するもの

先日、奈良県薬師寺の管長様のお話を拝聴する機会がありました。「人には色がある」というお話から、人はこの世に生まれたとき

母校宮城学院で

「赤ちゃん」と呼ばれる「赤」。赤は祝いや生命力の象徴ですね。そして、二十歳の成人式には、「黒」。これは、黒はこれ以上他の色には染まらない、そんな意味があるのだそうです。黒には何を混ぜても黒以外にはなりませんね。それから人が死ぬときは「白」になる。人生いろいろあつたけれど何もなかつたように真っ白になる、そのようにおっしゃいました。白装束の白も意味があると。それはきつと、新たな出発を意味するのかもしれない。

仙台生まれ仙台育ちの私は中学校、高等学校をオペラ歌手の森公美子さんと同じ母校、宮城学院で学びました。中学校時代には今は高層ビルが建ち並ぶ仙台駅前

に、讚美歌を歌うときには、美しい旋律が心を穏やかにしました。そんな母校で毎年5月に行われているホームカミングデー（全国から卒業生が集まる日）に、今年卒業生ゲストとして招かれ「じどうもじ」を紹介するという機会をいただきました。出席された方への記念品として「じどうもじバック」が作られたことも私にとって大きな想い出となりました。



■バックに「夢」の文字と「みやぎがくいんがとう」の文字↑



じどうもじ展

5月3〜5日に今年はいのり」をテーマに「じどうもじ展」を開催しました。毎年龍寶寺様には大変お世話になり感謝でいっぱいです。初日には、茶道の先生にお願いして、毎年お抹茶を点てていただいております。お着物で皆さまに心からのおもてなしをしてくださり、感謝申し上げます。そして、お客様がゆっくりと心を休めていただけることを何より嬉しく思います。



喫茶去

禅語に「喫茶去」（きつさこ）という言葉があります。お茶をどうぞ、と言う意味の喫茶去は、誰にでも分け隔てなく接する広い心を表しています。時として、身分の高い人やお金持ちだったり自分が好む人を特別にもてなしたり、逆に自分より目線が下だと思ふ人や嫌いな人に対していい加減な対応をしてしまいがちです。どんなときでも、どんな相手であつても心を込めて接するといふ深い言葉です。

世界緑茶コンテスト最高金賞を二回受賞された茶師、佐々木健さんへ今回「喫茶去」のじどうもじが渡りました。神奈川県藤沢に工場とお店を現在新築中で十月にオープン予定なのだそうです。歴史ある日本のお茶は、心を癒やす宝物ですね。



Tシャツデザイン

Tシャツのデザイン依頼をいただき、つい先日出来上がりました。幼稚園の先生方が夏祭りに使用するためとのこと、そのイメージ通りにとても可愛らしいじどうもじTシャツになりました。私も大満足です。



高校でじどうもじ

一月に、ある高校で「じどうもじ体験教室」という授業を行いました。書道の技術はさておき心で書く授業です。どんな文字をどんな風に書こうか・・・その過程がとても重要です。文字を選んだ理由やその思いを一人一人に聞いていきます。生徒は文字について話しているのですが、実は心そのものを話しています。どんな風に書くという焦点を当てることで内面を話すという恥ずかしさを無くします。心を筆で表現するには、技術が必要となり、それぞれに合った筆使いをその場で学べることは、生徒たちも思いがカタチになるのでとても楽しいようです。もっと書きたいという気持ちが出た技術を向上させていくという相乗効果もあります。出上がった作品はそれ以上に観る人にも書いた本人も喜びに満ち、幸せにするのではないかと思います。



手書きイベント

十月四日（日）
★かもみくするマーケット、補陀寺のマルシェ
場所・補陀寺（気仙沼市古町2-2-51）

毎月の書き下ろし

秋保木の家・手しごと館（仙台市太白区秋保町湯元字馬乙2-1）にて毎月最終日曜日に書き下ろしをしています。十時半から一五時まで。

じどうもじカレンダー

毎年好評で早い完売となり購入出来なかった方には大変ご迷惑をおかけしております。今年もカレンダーを販売予定です。次回の「やすらぎのじどうもじ」にてご案内を差し上げますが、先にご注文の予約も受け付けております。

カレンダー一部一〇〇〇円
発送の際荷造り送料がかかります。ご予約はメールにて jizoumoji@email.ne.jp お問い合わせ090-6221-6611